

## 主題：神の奥義の執事

メッセージ 1

### 奥義のエコノミー、奥義の啓示、神の恵みの執事職、神の奥義の執事

聖書：コロサイ 2:2. エペソ 1:9. 3:2-5, 9. 5:32. I コリント 4:1-2

- I. 永遠において、神はみこころを立てました。しかし、それは彼の中に隠されていました。このゆえに、それは奥義、すなわち、彼のみこころの奥義でした——エペソ1:9. 啓4:11。
- II. 召会は、神の永遠のエコノミーの隠された奥義です——エペソ 3:9-11：
  - A. 宇宙の奥義は神であり、神の奥義はキリストであって、キリストの奥義は召会です——創 1:1. 啓 4:11. コロサイ 2:2. エペソ 3:4。
  - B. 神の永遠のエコノミーは、神の永遠の定められた御旨、すなわち神の決定された意図に関するものです。神は明確で、力強い決定をもって、召会を持つことを意図しておられます—— 1:9. 3:10-11. II テモテ 1:9。
  - C. エペソ人への手紙第 3 章 4 節によれば、召会には特定の称号（キリスト奥義）があります。
  - D. 新約において啓示されている神のエコノミーには、おもに二つの奥義があります：
    1. 第一の奥義はコロサイ人への手紙において啓示されており、それは神の奥義、すなわち、肉体と成った神、定義された神、説明された神、表現された神、目に見えるようにされた神としてのキリストです—— 2:2。
    2. 第二の奥義はエペソ人への手紙において、特に第三章において啓示されており、それはキリストの奥義としての召会です。
  - E. 一つ霊としてのキリストと召会は偉大な奥義です。偉大な奥義は宇宙の意義と人生の奥義です—— I コリント 6:17. エペソ 5:32。
- III. キリストの奥義、召会、また神の隠された、定められた御旨に関して、奥義のエコノミーがあります—— 3:9：
  - A. 神のエコノミーとは、彼のご計画と案配であり、彼の神聖な三一においてご自身を彼の選びの民の中へと分与し、彼がキリストの奥義としての召会、キリストのからだを得て、彼の団体の表現とするためです。それゆえに、奥義のエコノミーがあるのです—— 1:3-23; 3:9。
  - B. 神がご自身の心の願いにしたがって、ご自身の中で計画され、定められたエコノミーは、時代の満了時に、キリストの中で、すべてのものをかしらにつり上げるためです。これは、召会のすべての肢体の中で、命の要因としての三一の神の豊かな命の供給の分与により達成されます—— 1:10。
- IV. 神の隠された、定められた御旨は奥義であり、この奥義を明らかに示すことは啓示です。それゆえに、聖書は奥義の啓示について語っています——ローマ 16:25。

エペソ 3:3, 5 :

- A. キリストの奥義である召会は、別の世代には隠されていましたが、新約時代において啓示されています—— 5 節。
- B. この奥義は、神の中に、各世代にわたって隠されてきましたが、今、新約の信者たちは照らされているので、それを見ることができます—— 9 節。
- C. 神の隠された、定められた御旨は奥義であり、ミングリングされた霊の中でこの奥義を明らかに示すことは、奥義の啓示です—— 3 節, 5 節。
- D. キリストの奥義は、啓示によって、使徒たちと預言者たちに霊の中で啓示されています—— 5 節：
  - 1. ミングリングされた霊は、キリストと召会に関する新約の啓示が使徒たちと預言者たちに明らかに示される手段です。
  - 2. わたしたちの霊が神聖な霊とミングリングされる時、わたしたちの霊は、キリストの奥義が啓示される器官となります—— I コリント 6:17. エペソ 1:17. 3:5。
- E. わたしたちが隠された奥義の啓示を見ようとするなら、わたしたちの内なる人、すなわち、わたしたちの再生された霊の中へと増強され、キリストにわたしたちの心の中にご自身のホームを造っていただく必要があります—— 14 節-17 節前半。

**V. 奥義のエコノミーは、使徒たちに、またすべての信者に与えられた神の恵みの執事職となりました—— 2 節, 9 節. コロサイ 1:25. I コリント 9:17 :**

- A. エペソ人への手紙第 3 章において、パウロは「オイコノミア」というギリシャ語の言葉を用いています。それには二つの意味があります：
  - 1. 神に関して、「オイコノミア」は神のエコノミーを意味します—— 9 節。
  - 2. わたしたちに関して、「オイコノミア」は執事職を意味します—— 2 節。
- B. 奥義のエコノミーが使徒たちに来た時、それは神の執事職となりました—— I コリント 9:17. エペソ 3:2, 9. コロサイ 1:25。
- C. 神の執事職は、神のエコノミーにしたがっています。神にはエコノミーがあり、使徒たちには執事職があります—— エペソ 3:2。
- D. 奥義のエコノミーと、神の恵みの執事職は、実は一です。これが意味するのは、わたしたちが神の行なっていること、すなわち、神の恵みの執事職を通して奥義のエコノミーを遂行することを行なうべきであるということです—— 1:10. 3:2, 9。
- E. 神の恵みの執事職は、神の新約エコノミーにおける務めです—— II コリント 4:1。

**VI. キリストにある信者として、わたしたちはみな神の奥義の執事であるべきです。神の奥義とは、神の奥義としてのキリスト、キリストの奥義としての召会です—— I コリント 4:1-2. コロサイ 2:2. エペソ 3:4 :**

- A. 神の奥義の執事として、最も重要なのは、執事が忠信であることが現れることです—— I コリント 4:1-2. ルカ 12:42. II テモテ 2:2. 啓 17:14。

B. わたしたちが執事職において忠信であろうとするなら、真実である神と一となる必要があります。ただ神だけが完全に真実であり、わたしたちは、彼と一となり、彼で構成され、彼の忠信さの属性において彼と同じになることによりのみ、忠信であることができます——Ⅱテモテ 2:13. Ⅰコリント 1:9. 10:13. Ⅱコリント 1:18-19. Ⅰテサロニケ 5:24。

© 2009 *Living Stream Ministry*